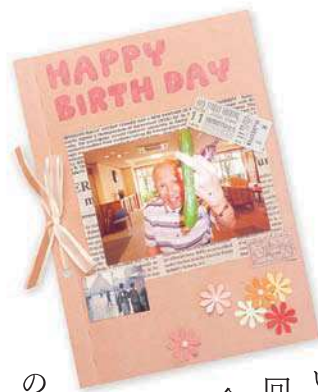


ローズライフ

Rose Life Vol.17
秋 2013

発行 京阪ライフサポート株式会社 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町14番10号 京阪くずは駅ビル南館3F 電話072-8680321



の行事にも、

ホーム
回転寿司を
食べたこと
結構なこと
です。

い物をしたり
買
ついでにき
てくれるので安心です。買
物をして
回転寿司を
食べたこと
結構なこと
です。

中国とも仲良くなったりしてね。
引き上げてからは京阪電鉄の本社
勤務です。四十年間勤めました。京
阪電鉄のOBは乗車パスをもらえる
ので、いまでもそれを使って電車で
外出をします。ホームのスタッフが

(ローズライフくずは サロンにて)

からね。
日、まだまだ楽しいことがあります
長生きはせんといかんですよ。毎
ビール。これが旨いです(笑い)。
上りにはカルピス、そして晩酌には

運動がてら、毎日ホームの駐車場
や中庭あたりをひと周りにして、風呂
上りにはカルピス、そして晩酌には
ビール。これが旨いです(笑い)。
長生きはせんといかんですよ。毎
日、まだまだ楽しいことがあります

もちろん参加します。カラオケや野
菜の収穫、京都への一泊旅行、米寿
のお祝いも賑やかにしていただきま
した。それに、毎月十日が家内の月
命日なので、ホームの一室を借りて
お坊さんにお経をあげていただくの
も、私の大切な行事です。



ホームの敷地内を歩いたあとの
晩酌に飲むビールが旨い!

ローズライフ
インタビュー

岩田正雄さん

89歳
(大正13年生まれ)
平成19年入居

生まれるは大阪の八尾。六人兄弟の
末っ子で、しかも母親を幼い頃に亡
くしているの、姉に甘えてばかり
いました。でも根が陽気で人懐っこ
いところがあつたせいか、満州で過
した兵隊時代は古年兵に重宝がられ
よく「チャンチュウ」という酒を買
いに行きました。左の肩から古年兵
の水筒、右の肩から自分の水筒をさ
げて行くんですよ。酒を売っていた

もみじの競演、吉城園。

刻々と変化する秋の陽射しを浴び、表情を変えてゆく「もみじの赤」。

本格的に色づく季節を前に訪れたのは

若草山や御蓋山を借景にしたもみじの名所、吉城園。

庭園に佇む茅葺屋根の建物と美しい紅葉は

私たちの心の中にある、秋の原風景なのかもしれません。

KEIHAN
京阪ライフサポート

吉城園



ホーム見学会
申込受付中!

介護付有料老人ホーム

ローズライフくずは

常に介護を必要とされる方に...

ホーム見学会 10/20⑨ 11/2⑩ 17⑩ 12:30~

☎0120-877-602 大阪府枚方市 楠葉朝日1丁目2番5号

住宅型有料老人ホーム

ローズライフ高の原

自立した生活をお過ごしの方に...

ホーム見学会 10/25⑨ 11/4⑩ 16⑩ 11:00~

☎0120-716-602 京都府木津川市 相楽台9丁目1番地5



す五mm〜1cmの小さな段差が原因になっていることが多いです。カーペットや座布団、電化製品のコードな

暮らしの環境を整えるというテーマで、前回までは見え方や明るさについてお話ししてきました。今回は転倒事故などを引き起こす「段差」についてお話しします。

『住まいの中にどんな段差があるでしょう』と質問すると、たいいていの方は、階段、玄関、浴室、敷居など比較的大きく、目につきやすい場所を挙げられます。確かにこれらの段差は、事故が起こりやすい場所です。でもその分、より注意して上り降りしているものです。意外かもしれませんが、居室内の転倒は、つまずきを引き起こす

がその代表です。加齢とともに足首が硬くなり、つま先も上がりにくくなるので、こういった小さな段差にこそ注意が必要なのです。予防法としては、足元に物を置かないことに尽きるのですが、床や畳の色に溶け込まないようコードに色テープを貼るなどして目立たせる方法もあります。座布団を少し目立つ明るい色に変えるのもいいですね。段差自体は解消できなくても、つまずきを防ぐことにつながりますし、お部屋の中も明るくなりますよ。

最大級の住宅でもあることから、県の有形文化財に指定されています。現在のこの建物は、改修工事中で内部をご覧いただくことができませんが、多彩な使用部材、施工技術の高さ、襖絵、板戸絵などから、正法院家がこの家にかけた並々ならぬ思いが感じられます。



京阪ライフサポート株式会社
ローズライフ事業部 真藤英恵
ケア事業部 次長 眞藤英恵
理学療法士。病院、在宅訪問で高齢者ケアと健康増進に携わり、2003年入社。現在に至る。

見過ごしが必要な小さな段差にこそ注意が必要です。

暮らしの環境を整えるというテーマで、前回までは見え方や明るさについてお話ししてきました。今回は転倒事故などを引き起こす「段差」についてお話しします。

『住まいの中にどんな段差があるでしょう』と質問すると、たいいていの方は、階段、玄関、浴室、敷居など比較的大きく、目につきやすい場所を挙げられます。確かにこれらの段差は、事故が起こりやすい場所です。でもその分、より注意して上り降りしているものです。意外かもしれませんが、居室内の転倒は、つまずきを引き起こす

庭園と建物との調和、大正期の風雅な趣を残す吉城園。



吉城園入口付近



「池の庭」と旧正法院家住宅

園内は起伏のある地形で、旧正法院家住宅がある「池の庭」から東に向かつて徐々に高くなり、離れ茶室のある「苔の庭」「茶花の庭」へと続きます。

美しい杉苔に覆われた苔の庭には茅葺屋根の離れ茶室があり、庭と建物が一体化した趣深い景観を作り出しています。茅葺屋根の茶室自体はよくある造りですが、この離れ茶室は四棟の多棟構成になっており、これは非常に珍しいといわれています。

一般の観光客の方は中に入っていないだけませんが、梅見門、飛び石、腰掛、つくばい、にじり口など茶席としてふさわしい意匠が施され、お茶会にご利用いただくことは可能です。

苔の庭は奥行きのある庭で、離れ茶室の座敷に座って眺めてみると、建物の庇、縁、襖に縁取られ、また違った風情が感じられます。紅葉が美しいのもこの辺りです。紅葉は三分の二がもみじで、十一月初旬から十二月初旬まで楽しめます。

当園には、さまざまな木々が混生

色づくもみじの見どころは、「苔の庭」から眺める茅葺屋根の離れ茶室。

離れ茶室から「苔の庭」を望む



しています。造りこみ過ぎない自然の植物体系を活かした庭という意味を込めて、私たちはナチュラルガーデンと呼んでいます。来園者が多いのは紅葉シーズンですが、雨上がりも美しいですし、入口付近から若草山の山焼きや花火も見ることが出来ます。六十五歳以上の方は入園無料ですから、四季折々に訪れ、移り変わる庭園の姿をお楽しみください。

吉城園 館長 山内洲平さん

京のお菓子歳時記「秋」

夕焼け、紅葉、鞍馬の火祭、茜色の京都。「鞍馬の径」浮島

泡立てた卵白を使って蒸すため生地が膨らみ、カステラのようなしっとり優しい口どけの「浮島」は、江戸時代の菓子書には名前が見当たらず、歴史はそう古くはないようです。

この浮島を秋色に染め、羊羹と重ねて季節を表したのが笹屋伊織の「鞍馬の径」でございます。ふわっとした浮島と羊羹が奏でる味わい深いお菓子です。(文 十代目女将)



創業享保元年 京菓子司 笹屋伊織
本店 京都市下京区七条大宮西入 TEL.075-371-3333

高の原 探店

手羽先唐揚げや、炭火焼きの焼き鳥が自慢。居酒屋 テバス

高の原駅から徒歩三分。手づくりこだわった鶏料理や旬の鮮魚が味わえる「テバス」の自慢は、本場名古屋仕込みの『手羽先唐揚げ』です。外はカリッと中はジューシーな味わいで、味付けは甘口、辛口、カレー味、名古屋味の四種類。また、丁寧に手刺して炭火でじっくり焼いた『やきとり』は鶏の旨味が凝縮した逸品。リーズナブルな価格もうれしいお店です。



〒631-0805 奈良市右京1-4 サンタウンプラザひまわり館1F
TEL.0742-70-5170 営業時間 / 17:00 ~ 翌1:00
定休日 / 毎週月曜日 (祝日の場合は火曜日)